

米をめぐる状況について

令和 6 年 10 月

農林水産省

農 産 局

目 次

【① 我が国における米の状況】

○米の全体需給の状況	5
○主食用米等の令和5/6年及び令和6/7年の需給見通し	6
○水田の利用状況の推移	7
○米の用途別・年産別面積の推移	8
○令和6年産水稻の作付面積及び収穫量	9
○令和6年産の水田における作付け状況	10～12
○米の販売数量及び民間在庫の推移	13
○産地別民間在庫の状況	14
○相対取引価格の推移	15
○長期的な主食用米の価格動向	16
○令和6年産の相対取引価格	17
○米の流通経路別流通量の状況	18
○米の流通の状況	19

【② 米の需給安定・経営安定のための施策】

○米の需給安定・米生産者の経営安定に関する 主要な政策ツール	21
○令和6年産水田活用予算の全体像	22
○令和6年産の水田活用予算の見直しの主な変更点	23
○水田活用の直接支払交付金等	24
○交付対象水田の見直しについて	25
○水田活用の直接支払交付金の交付対象水田について	26
○水田活用の直接支払交付金等に係る 会計検査院からの指摘事項について	27
○会計検査院からの処置要求に対する対応方針	28

○令和6年産以降の飼料用米（一般品種）への支援	29
○畑地化促進事業	30
○畑地化促進事業の推進状況	31
○種子の増産スケジュール（飼料用米の多収品種）	32
○各都道府県において栽培可能な多収品種	33
○米粉パン・米粉麺に適した米粉専用品種	34・35
○水田農業の高収益化の推進＜一部公共＞	36
○畑作物産地形成促進事業	37
○小麦・大豆の国産化の推進	38
○麦・大豆ストックセンター整備対策等の成果	39
○国産小麦・大豆を使用した商品について	40
○米穀周年供給・需要拡大支援事業	41
○主食用米の需給安定の考え方について	42
○令和6年度の保管料支援のイメージ	43
○全国的な推進組織について	44
○農業再生協議会について	45
○米穀周年供給・需要拡大支援事業の主な取組事例	46
○収入保険制度の実施	47
○経営所得安定対策	48
○米・畑作物の収入減少影響緩和交付金	49
○政府備蓄米の運営について	50
○日本における穀物等の備蓄	51・52
○備蓄米の政府買入入札の結果	53
○東日本大震災を踏まえての災害時に対応した備蓄	54
○CPTPP豪州枠に係る会計検査院からの指摘について	55

○総合的なTPP等関連政策大綱に基づく豪州枠に係る 備蓄米の運営方針の見直し	・ 5 6
○ふるい下米の発生量	・ 5 7
○国産加工原材料用米穀の供給量	・ 5 8
○M A 米及び政府備蓄米の加工原材料用途への販売	・ 5 9
○加工原材料用向け政府備蓄米の販売	・ 6 0
○政府備蓄米の無償交付 （こども食堂等、こども宅食への支援）	・ 6 1

【③ 需要に応じた生産】

○農林水産業・地域の活力創造プラン	・ 6 3 ・ 6 4
○食料・農業・農村基本計画	・ 6 5 ～ 6 7
○食料・農業・農村基本法改正を受けた政策の進め方	・ 6 8
○「米に関するマンスリーレポート」による情報提供	・ 6 9
○令和 6 年産米の需要に応じた生産・販売の推進状況	・ 7 0
○主食用米の事前契約（播種前契約）の状況	・ 7 1
○需要に応じた販売について	・ 7 2
○中食・外食向け販売量の状況	・ 7 3 ・ 7 4
○中食・外食向けの需要に応じた生産・販売事例	・ 7 5
○産地と中食・外食事業者等の米マッチング商談会	・ 7 6
○家庭における 1 世帯当たりの 米、パン、めん類の購入量の推移	・ 7 7
○家庭における 1 世帯当たりの支出金額の推移	・ 7 8
○米の消費における家庭内及び中食・外食の占める割合	・ 7 9
○米の消費動向	・ 8 0 ～ 8 2
○茶わん 1 杯のお米の値段	・ 8 3

○主食用米の販売動向	・ 8 4
○米の消費拡大の現状と対策	・ 8 5
○米飯学校給食の推進・定着	・ 8 6
○多面的な情報発信	・ 8 7 ～ 8 9
○生産コスト低減に向けた具体的な取組	・ 9 0
○生産力強化に向けた水田経営モデル確立支援事業	・ 9 1
○米の生産コスト低減に向けた取組	・ 9 2
○米の作付規模別 6 0 k g 当たり生産費	・ 9 3
○販売目的で作付けした水稻の規模別農業経営体数	・ 9 4
○水稻の多収品種	・ 9 5
○スマート・オコメ・チェーンコンソーシアム	・ 9 6
○スマート・オコメ・チェーンによる情報の連携と活用	・ 9 7
○米の物流合理化について	・ 9 8
○夏の高温・渇水の状況と対応	・ 9 9
○令和 6 年産水稻うるち玄米の 1 等比率及び前年比較	・ 1 0 0
○令和 6 年産水稻うるち玄米等級別検査数量	・ 1 0 1
○令和 5 年夏の高温・渇水被害への対応	・ 1 0 2 ・ 1 0 3

【④ 新規需要米等の取組状況】

○飼料用米の取組状況	・ 1 0 5 ・ 1 0 6
○飼料用米の供給状況	・ 1 0 7
○令和 6 年産飼料用米の出荷方式、品種別面積	・ 1 0 8
○配合飼料メーカーの立地状況と 飼料用米の集荷・流通体制	・ 1 0 9
○飼料用米の流通経費	・ 1 1 0
○飼料用米の需要とマッチング	・ 1 1 1

○多収品種・	1 1 2
○飼料用米の利用拡大のための	
機械・施設整備等への支援・	1 1 3
○飼料用米を活用した畜産物の	
高付加価値化に向けた取組・	1 1 4
○米粉用米の状況・	1 1 5
○米粉によるグルテンフリー食品市場への取り込み・	1 1 6
○米粉の利用拡大支援対策事業・	1 1 7
○米粉の利用拡大支援の実施状況・	1 1 8
○米粉を使用した商品について・	1 1 9
○日本酒の需要動向と原料米の使用量について・	1 2 0
○酒造好適米の需要に応じた生産について・	1 2 1

【⑤ コメの輸出・輸入】

○コメ・コメ加工品の輸出実績・	1 2 3
○商業用のコメの輸出数量及び輸出金額の推移・	1 2 4
○コメ・パックご飯・米菓の輸出実績の推移・	1 2 5
○農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略・	1 2 6
○全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会の概要・	1 2 8
○全米輸による海外需要開拓の取組例・	1 2 9
○コメ海外市場拡大戦略プロジェクト・	1 3 1
○主なコメの輸出産地・	1 3 3
○現地系外食・小売チェーン等への進出・	1 3 5
○各国・地域で広がりを見せる「おにぎり」・	1 3 6
○中国向けコメ輸出の状況・	1 3 7
○経営規模・生産コスト等の内外比較・	1 3 8

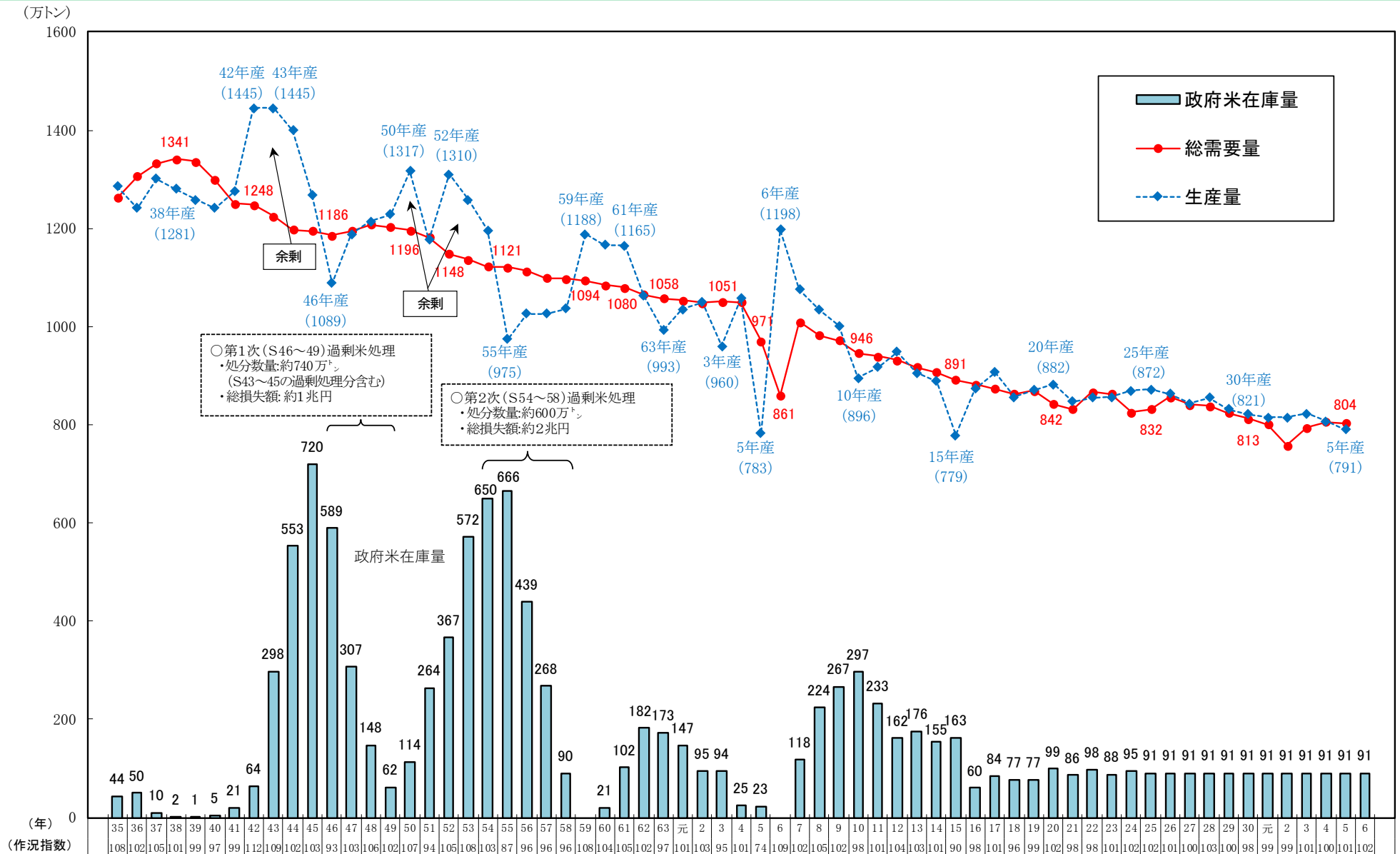
○日米の水稻栽培法の主な違い・	1 3 9
○コメの内外価格差・	1 4 0
○コメの輸入制度・	1 4 1
○M A 米の運用に関する政府の方針・見解・	1 4 2
○国家貿易によるコメの輸入の仕組み・	1 4 3
○M A 米の輸入状況・	1 4 4
○令和5年度のS B S 米の輸入入札状況・	1 4 5
○M A 米の販売状況・	1 4 6
○コメの国家貿易（M A 米等）の運用に伴う財政負担・	1 4 7
○M A 米をめぐる国際関係・	1 4 8
○O D A を活用したコメの食糧援助の現状・	1 4 9
○ASEAN+3緊急米備蓄（APTERR）による支援・	1 5 0

【⑥ 国際交渉】

○T P P 1 1 におけるコメの豪州枠の運用・	1 5 2
○各国の対日関税に関するT P P 交渉結果・	1 5 3
○C P T T P 英国加入 対日関税に関する交渉結果・	1 5 4
○総合的なT P P 等関連政策大綱【米関係抜粋】・	1 5 5
○日E U ・E P A 交渉結果（コメ）・	1 5 7
○対日関税に関する日E U 交渉結果・	1 5 8
○日米貿易協定交渉結果（コメ）・	1 5 9
○世界のコメ需給の現状（主要生産国、輸出国等）・	1 6 0
○コメ輸出国の動向・	1 6 1

①我が国における米の状況

米の全体需給の状況（昭和35年～）



- 注1. 政府米在庫量は、外国産米を除いた数量である。
 2. 政府米在庫量は、各年10月末現在である。ただし、平成15年以降は各年6月末現在である。
 3. 平成12年10月末の政府米在庫量は、「平成12年緊急総合米対策」による援助用隔離等を除いた数量である。
 4. 総需要量は、「食料需給表」(4月～3月)における国内消費仕向量(陸稲を含み、主食用(米菓・米穀粉を含む)のほか、飼料用、加工用等の数量)である。ただし、平成5年以降は国内消費仕向量のうち国産米のみの数量である。
 5. 生産量は、「食料需給表」における国内生産量(「作物統計」の水陸稲の収穫量の合計に、飼料用米の数量を加えた数量)である。